

平成 12 年度一般研究チーム報告書

目覚めよチャレンジ精神！

起業家精神を有する人材の育成に向けて

平成13年(2001年)3月

まえがき

神奈川県自治総合研究センターでは、研究事業の一環として、行政課題に関連したテーマを設定し、研究チームによる研究活動を行っています。そのうちの一般研究チームは、募集に応じた職員やテーマに関連する部局の職員及び当センターの職員などの概ね 10 名程度で構成され、各研究員は、所属と当センターの兼務職員等として、それぞれの所属の業務を遂行しながら、原則として週 1 回、1 年間にわたり研究を進めています。

本報告書は、平成 12 年度の一般研究チームによる「起業家精神を有する人材の育成について」に関する調査研究の成果をまとめたものです。

私たちは、今、まさに先行き不透明な変化の激しい時代を迎えています。こうした時代をたくましく生き抜くためには、創造性やチャレンジ精神を持って、自ら主体的に課題を見つけ、考え、行動できる力を身に付けていく必要があります。しかし、このような力は、大人になってから教えられて急に身に付くというものではありません。人としての基本的な価値観や行動様式が形成される子どものころ、特に、初等・中等教育の段階から様々な経験を通してはぐくまれていく必要があります。

こうしたなか、近年では創造性やチャレンジ精神に富むベンチャー企業の経営者などが中心となり、子どもたちに「経済活動」という実社会との関わりを通して、チャレンジ精神や夢を持つことの大切さ、将来の職業選択の多様性などを伝えていこうという「起業家教育」の取り組みが始まっています。しかしながら、このような取り組みは、学校・教員、保護者などから、「お金儲けやビジネスの方法を教えるのではないか」といった誤解を受けることもしばしばあり、教育の一環という理解を得ることが大きな課題となっています。

そこで本研究では、国内外における起業家教育の取り組みの検証、起業家等へのヒアリング、教員や児童・生徒に対するアンケートによる意識調査、研究チーム員の起業家教育の現場への積極的参観等から、起業家精神の育成を初等・中等教育で進めるための具体的方策の提言を試みました。さらに提言の具体的な実行として、研究チーム員が関わり、県内の高等学校 2 校及び中学校 1 校並びに神奈川県立かながわ女性センターにおいて実践活動を試みました。

最後になりましたが、本研究を進めるに当たりましては、多摩起業家育成フォーラム企画・広報委員長 竹内利明氏をはじめ、多くの起業家教育関係者の方々にご協力、ご指導を賜りました。また、アンケート調査の対象となりました県内小・中・高等学校におかれましては、貴重な時間をお借りして調査にご協力いただきました。

心から感謝いたします。

平成 13 年 3 月

神奈川県自治総合研究センター
所 長 須 藤 道 也

【 目 次 】

第 1 章	起業家精神を有する人材の育成	1
第 1 節	起業家精神の必要性	1
第 2 節	起業家精神の定義	6
第 3 節	起業家精神の育成と起業家教育	8
第 2 章	教育改革の方向性	11
第 1 節	学校教育の課題	11
第 2 節	教育改革と「生きる力」	12
第 3 節	「生きる力」の育成と総合的な学習の時間	14
第 3 章	起業家精神と「生きる力」	17
第 1 節	起業家精神と「生きる力」の関係	17
第 2 節	起業家精神の育成と「生きる力」の育成	19
第 4 章	国内外における起業家教育の取り組み	20
第 1 節	諸外国の取り組み	20
第 2 節	国内の取り組み	25
第 5 章	起業家教育に対する意識	37
第 1 節	起業家教育関係者へのヒアリング	37
第 2 節	学校現場へのアンケート	51
第 6 章	提言	63
第 1 節	提言にあたって	63
第 2 節	提言	66
第 3 節	今後に向かって	78
第 7 章	研究チームが関わった起業家教育の事例	79
事例 1	「女子高校生起業家入門」 神奈川県立かながわ女性センター	80
事例 2	「起業家の話を聞く」 神奈川県立小田原城北工業高等学校	86
事例 3	「ベンチャーへの夢」 神奈川県立向の岡工業高等学校	94
事例 4	「職業体験学習の取り組み」 海老名市立有馬中学校	101
資料編		
	アンケートデータ	115
	参考文献	146

研究のフレーム

